

各 位

会 社 名 ワイエスフード株式会社
 代表者名 代表取締役社長 緒 方 正 憲
 (コード番号 3358)

問 合 せ 先 管理本部長 岩 下 征 吾
 T E L 0 9 4 7 - 3 2 - 7 3 8 2

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 5 月 14 日に公表しました平成 26 年 3 月期通期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の連結業績予想と本日公表の実績値に、下記のとおり差異が生じたのでお知らせします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,927	54	44	38	10.63
今回実績 (B)	2,005	54	47	13	3.85
増減額 (B - A)	78	△0	2	△24	
増減率 (%)	4.0	△0.3	5.8	△63.9	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	2,201	14	7	△85	△23.04

(注) 当社は、平成 25 年 10 月 1 日付けで株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。

なお、過年度に当該株式分割が行われたと仮定して遡及修正を行った場合の 1 株当たり当期純利益を記載しております。

2. 差異が生じた理由

通期の連結業績につきましては、経営戦略としての「社員独立制度」による企業体質の強化への取り組み、また、店舗売上高の増加の取り組みとして、全国誌を媒体としたキャンペーンを積極的に実施することでブランディング及び集客力の向上を図っており、海外事業におきましても、店舗数が純増していることに伴い、食材出荷量も計画を上回り、営業利益及び経常利益におきましてもほぼ計画通りに推移致しました。

しかしながら、消費税増税に伴う消費者の外出利用頻度の影響は不透明感があることに加え、原材料価格の高騰や電気料金の値上げ、異業種との競争も激化することが予測されることから、「繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い」に基づき、今後の業績動向を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩したことにより、法人税等調整額を 4 百万円計上したこと等から、当期純利益のみ連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたものであります。

なお、平成 26 年 4 月 24 日に公表しました「配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、財務基盤が良好であることから、株主の皆様に対する利益還元として、1 株当たり 3 円の復配とさせていただきます。

以 上